

## (臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

末梢血塗抹標本にスマッジ細胞が出現していた場合のアルブミン添加標本作成基準の検討

### [研究責任者]

江南厚生病院 診療協同部 臨床検査室 左右田昌彦

### [研究の概要]

血液疾患の診断において末梢血塗抹標本における目視での細胞分類及び形態判定は重要です。しかし、慢性リンパ性白血病（CLL）などのリンパ系疾患では、塗抹標本に崩壊した細胞（スマッジ細胞）が多数出現することがしばしばあります。対処方法として、当院では細胞保護効果のあるアルブミンを検体に添加して標本を作成していますが、作成するタイミングの基準がないのが現状です。そこで、アルブミン添加標本作成の明確な基準を設定のために検討を行います。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2022年12月1日から2023年5月31日の間に当院にて血液像検査を行い、末梢血塗抹標本にスマッジ細胞が認められた方。

#### ●利用するカルテ情報

白血球細胞分類、年齢、性別、疾患、WBC数、生化学データ（CRP値など）等

### [個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 診療協同部 臨床検査室 左右田昌彦

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337